

小金井市公立保育園父母の会
くりのみ保育園父母の会会長 射場 久善 様
けやき保育園父母の会会長 大金 順子 様
小金井保育園父母の会会長 山口 雪子 様
わかたけ保育園父母の会会長 三橋 誠 様
さくら保育園父母の会会長 長岡 祐三子 様

小金井市長 稲葉 孝彦

平成 2 6 年度小金井市公立保育園父母の会からの
意見・要望等について (回答)

平素は、小金井市の保育行政に特段のご配慮をいただき、ありがとうございます。
平成 2 6 年 1 0 月 1 1 日付けでいただいた意見・要望等について、下記のとおり回答いたします。

今後引き続き、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

1 保育士体制問題

平成 2 6 年度においては、退職者 (4 人) に対する補充として、正規職員の欠員 1 人に対し非常勤嘱託職員 (30 時間/週) 2 人を配置したところです。平成 2 7 年度の体制については、今後の対応となりますが、保育に支障のないように対応していきます。

2 待機児童の解消

平成 2 6 年 4 月 1 日現在の待機児童数は、2 5 7 人となり、昨年度と比較して 6 9 人増加しています。

昨今の経済状況や就労形態の多様化等から、保育に対する需要は保育ニーズのピークと言われる平成 2 9 年度に向けて、今後も引き続き増加することが予想され、

待機児童解消は本市の喫緊の課題であると認識しています。

本市では、待機児童の解消を図るため、平成25年度中に保育の供給量の拡大を図り、平成25年4月から平成26年4月までの間には122人拡大したところですが、保育需要はそれを上回る状況となっています。

平成26年度中には、公立保育園の定員弾力化による受入児童の拡大、平成27年度開設予定で認可保育所の新設1箇所、認証保育所から認可保育所への移行2箇所、民間認可保育所の改修等による定員の拡大、また、グループ保育室を平成26年11月に2箇所開設するなど、様々な待機児童解消施策に取り組んできたところですが、今後も更に待機児童解消施策に取り組んでいくこととします。

3 病児保育

4 病後児保育

平成24年11月に病後児保育施設を1か所開所した状況ですが、現状では充足していないと考えます。また、病児保育についての市民要望の高さも認識しています。今後、医師会とも連携し、病後児保育施設の拡充、病児保育施設の実現に向けて引き続き検討を行います。施設の運用面の改善、周知の方策については検討してまいります。

5 延長19時一時利用

延長保育の一時利用については、以前から要望をいただいております。市としても必要であるとの認識を持っており、保育業務の総合的な見直しの中で検討を行っている状況です。今後、利用方法、職員体制を含め実施に向けて検討いたします。

6 園セキュリティ強化

保育所のセキュリティに対する強いご要望があることは認識しており、修繕での対応等、財政状況も勘案しながら実現に向けて検討したいと考えます。また、各園それぞれの状況に係る要望については、個別に対応を検討していきます。

7 民間等への委託問題（公立保育園運営協議会の運営を含む）

- (1) 覚書で合意した項目（審議時間の十分な確保、委託を前提とした議論としないこと）については、引き続き遵守していきます。
- (2) 五園連側からの指摘事項等については真摯に受け止め、保育士体制に係る指摘

事項についても保育に支障のないように対応していきます。

(3) 一定の整理が整った段階でご指摘の点を踏まえ、対応を検討してまいります。

8 災害対策

(1) 「小金井市立保育園 防災の指針」は、「公立保育園として、大地震等にどう対応し」、「保護者等に対し児童を安全に引き渡し」、「どう保育の再開を目指していくか」について基本的な考え方をまとめたもので、各園でそれぞれの園の事情を考慮しながら「保育園防災計画」を毎年度作成するものです。今後、各園で防災計画に係る説明を各園役員会等の場をお借りして実施することとします。

(2) 災害時における保護者の皆さんに対する情報伝達手段につきましては、大きな課題と認識しており、確実に情報を伝達できる複数の方法（メール、SNS の活用など）が必要と考えています。早期の実施を目指し、今後も引き続き検討していくこととします。

9 延長保育（20時まで）

21 夜間保育（20時以降）

延長保育の20時までの延長については、以前から要望をいただいております。市としても必要であるとの認識を持っています。現在、保育園業務の総合的な見直しを行っており、その中で検討し、早期に結論を出していきたいと考えています。なお、20時以降の夜間保育についても同様とします。

10 施設面の改善

今年度においては予算の範囲内で対応し、来年度においては必要な予算の確保に努めたいと考えます。

11 園周辺道路の安全

園周辺の交通安全対策として、保護者の皆様からの要望により通過車両の注意を促す立て看板の設置について交通対策課と連携して対応してきたところです。平成25年度においては、小金井保育園、わかたけ保育園の周辺道路において注意喚起を促す看板の設置を行いました。また、平成26年度においてもけやき保育園で同様の対応を行っているところです。交通安全対策については、引き続き個別にご相談頂きたいと考えます。

12 休日保育

休日保育については、以前から要望をいただいております、市としても一定の需要があるとの認識を持っています。現在、保育園業務の総合的な見直しを行っており、その中で検討し、早期に結論を出していきたいと考えています。

13 駐車場の確保

原則として保育所の送迎については車の利用はご遠慮いただくこととし、保育所案内にもその旨記載しているところです。現在、それぞれの園において、保護者の皆様にルールを定め、園の駐車スペースを活用頂いている状況は認識しています。保護者の皆様の駐車場設置の要望については理解しているところですが、現時点では新たに駐車場を確保することは困難な状況ということをご理解いただきたいと思います。

14 保育相談の強化

保育相談については、ご指摘の点を踏まえ、より相談しやすい環境づくりに配慮します。

15 保育料の見直し

保育料の見直しについては、平成18年の児童福祉審議会の答申を受け、また、第3次行財政改革大綱においても検討項目となっており、受益者負担の適正化について検討することが必要であると認識しているところでございます。

16 異年齢保育の評価

異年齢保育については、現在、小金井保育園を除く4園で実施しているところです。保護者の皆様の評価も踏まえ、早期に検証を実施していきます。

17 放射線測定強化

保護者の皆様の不安を払しょくするため、本年度においても前年同様に空間放射線量の測定、給食食材の測定を実施し、HPで公表しています。万一、問題が生じた場合には、速やかに関係各課と連携し対応することとします。

18 障がい児受け入れ

障がい児の定員、年齢制限の撤廃については、保育園業務の総合的な見直しの中で検討を行なっている状況です。今後、具体的な内容、職員体制を含め、実施に向けて検討いたします。

20 第三者評価

第三者評価については、平成22年度から開始し、平成24年度で全園の実施に至りました。本年度は、小金井保育園、さくら保育園で第三者評価を実施することとし、来年度以降も継続して実施していく予定です。現在まで、各園で行った第三者評価については、各園の主査職で第三者評価のフィードバックについて検討し、それぞれ情報を共有しているところですが、最終的なまとめ作業を現在行っているところです。

○ 子ども・子育て支援新制度について

(1) 平成27年4月から施行される子ども・子育て支援新制度に向け、現在、市では準備を行っているところですが、新制度下においても公立保育所の保育内容については、現状の保育内容を維持していくこととします。また、保護者負担（利用料）については、従前の負担水準と同等となるよう階層区分等について検討しているところです。

(2) 平成27年4月から施行される子ども・子育て支援新制度に向け、市では法律に義務付けられる「子ども・子育て支援事業計画」の策定とそのために意見を聴く場として、平成26年に「子ども・子育て会議」を設置しました。

「子ども・子育て会議」の委員構成については、「のびゆくこどもプラン小金井 推進市民会議」の委員構成を拡充・移行したもので、幼児期の学校教育、保育、地域の子ども子育て支援を総合的に推進するという法の趣旨から、本市においても幅広い分野からの委員構成が必要と考え、現在の委員構成としたものです。